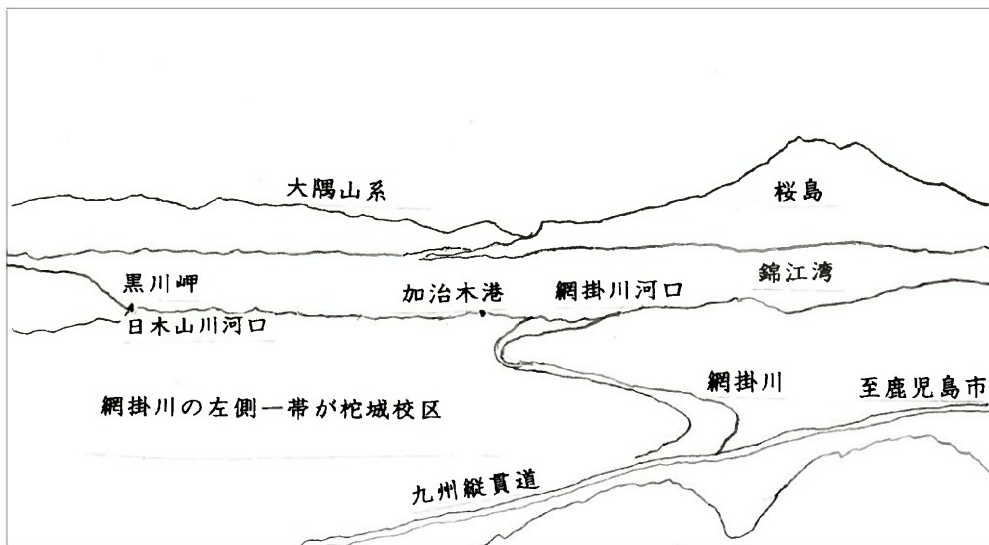


柁城校区まちづくりプラン

『歴史と文化を語り継ぎ 心豊かに学び
生活できる 住みよいまち 柁城』をめざして



鹿児島県 始良市 加治木 町
柁城校区コミュニティ協議会



[表紙の写真：高岡公園より錦江湾・柁城校区一帯を望む]

．．．目次．．．

はじめに ．．．．． 1

I 柁城校区の概要

1. 『柁城』という名の由来と『柁城小学校』 ．．．．． 2
2. 柁城校区の位置図 ．．．．． 3
3. 柁城校区の特色ある風景・史跡・伝統芸能等 ．．．．． 4
4. 平成29年度 柁城校区コミュニティ協議会の組織図 ．．．．． 6

II 柁城校区の現状と課題

1. 柁城校区の現状 ．．．．． 7
2. 校区民へのアンケート調査について ．．．．． 8
3. アンケート分析結果と柁城校区コミュニティ協議会の課題 ．．． 9
4. ”まちづくり”を進めるための意見・提言 ．．．．． 10

III 柁城校区が目指す将来像 ．．．．． 11

IV 主な取組みと専門部の役割分担 ．．．．． 12

V 計画の推進に向けて ．．．．． 15

VI 資料編

1. アンケート調査集計結果 ．．．．． 16
2. プラン作成の経過 ．．．．． 25
3. 柁城校区まちづくりプラン作成委員会委員 ．．．．． 26

はじめに

始良・蒲生・加治木の3町が合併して始良市が誕生したのが平成22年3月・早7年の歳月が流れました。今、私たち市民には『新しい“まちづくり”は、それぞれの地域に住む人が皆で意見を出しあい知恵を出し合って協働して取り組んでいくこと』が求められています。そのため始良市には平成27年度、17の小学校区ごとにコミュニティ協議会が組織され、旧加治木町にも5つのコミュニティ協議会が発足し、それぞれに年間の活動計画が作成されそれに基づいて様々な活動が推進されつつあります。

私たちの柁城校区は、昔からクモ合戦や太鼓踊りなどの伝統行事が毎年盛大に行われ、名所旧跡の多い歴史と文化の香り漂う加治木の中核をなす地域です。その中心に柁城小学校があり加治木中学校に加えて県立高等学校2校も存在する文教の地でもあります。

これからもこのような地域の特性を生かしつつ、自治会をはじめ子ども会・育成会・PTA組織や消防団・民間事業所など皆が協力してまちづくりを進めていかなければなりません。

そのため私たちは平成28年7月に「柁城校区まちづくりプラン作成委員会」を組織し、『校区の顔がよく見える計画』の作成を目指して会合を重ね、校区の現状や課題を把握するため、自治会ごとにアンケート調査を実施し、その結果も参考にしながら、このような5年～10年先を見据えた「まちづくりプラン」を作成しました。

今後様々な活動を積み重ねていく中で皆様の意見や思いを聞きながら、その英知を結集して更に充実したものにしていかなければいけないと考えております。

このまちづくりプランの実行が柁城校区コミュニティの発展とともに「誰もが安全、快適に暮らせる都市」「活力を育み、発展する都市」「歴史文化・自然環境を大切にし、生かす都市」という始良市の都市づくりにつながることを願ってやみません。

アンケート調査に貴重なご意見やご提言をいただきました多くの校区の皆様にご心から感謝申し上げます。

平成29年3月

柁城校区コミュニティ協議会 会長 徳重武秀
まちづくりプラン作成委員会委員長 樋山紀男

I 柁城校区の概要

1. 『柁城』という名の由来と『柁城小学校』

大昔今の錦江湾はもっと広く、今の柁城小学校や加治木高校などのある仮屋の馬場前あたりが海岸で小波が寄せては返し、寄せては返す波打ち際であった。そこにその船の舵が漂ってきて浜辺に打ち上げられた。しばらくして村人が、その舵を見るといつの間にかその古舵から小さい芽が出てきているのに気付いた。その芽がどんどん成長して後には我が三洲(薩摩・大隅・日向)の大空に天にもとどく樟の大木となった。「不思議だ、何かわけがありそうだ」と思ったり言ったりしていたが、誰言うもなくこの村里を「かじき」「かじき(柁木)」と呼ぶようになった。この村里こそ柁木、すなわち、加治木である。(この伝説は江戸時代後期に薩摩藩が編纂した薩摩国、大隅国、及び日向国の一部を含む領内の地誌や名所を記した三国名勝図会をもとにしている。)

江戸時代には戦国武将・島津義弘が、この地に一大屋形を築き、「柁城」と呼んだ。これを「かじき」と読む。屋形は慶長8年(1603年)から造営が始まり、4年後の慶長12年(1607年)に落成し家臣団とともに移り住んだ。

天明4年(1784年)、加治木島津家六代領主島津久徴^{ひさなる}によって始められた郷校「^{いく}毓英館^{えいかん}」が、明治9年に「柁城小学校」と改称された。柁城にめぐらされた石垣の中に神代のロマンと剛健な薩摩健児教育の歴史をしるすことができる。

同校は昭和20年8月、戦災に遭い全焼した。その後再建され、昭和28年には柁城の子らが、心身共に健やかに成長し、世界の子らと手をつなぎ、世界平和に貢献することを祈って作家「椋鳩十」氏作詞による校歌が誕生した。開校以来、140年余の年輪を刻んできた学校で、あらゆる教科・道徳・領域等の教育研究や作品コンクール等において数多くの学校賞を受賞するなど歴史と伝統と研究実績を誇り、校区民の信頼も厚い。



※参考文献

『加治木郷土誌』, 『加治木物語』,
『柁城小学校要覧』

2. 柁城校区の位置図

柁城校区は、始良市加治木町の中心部に位置し、東の日本山川流域と西の網掛川に挟まれた区域と中野地区（長谷・中野・楠原・弓削・川畑自治会）である。

また、校区の北側は九州縦貫道が東西にはしり交通の利便性もよく、南側は、波静かな錦江湾に浮かぶ雄大な桜島を望む風光明媚な地でもある。北側には車で20分程度の場所に鹿児島空港が位置している。



始良市加治木町の全景（網掛川の左側一帯が柁城校区）

3. 柁城校区の特色ある風景・史跡・伝統芸能等



柁城島津屋形跡(護国神社・柁城小学校)



加治木図書館(国登録有形文化財)



曾木家の門



龍門司坂



龍門の滝



森山家土蔵(国登録文化財)



道仁の鉄びん



太鼓おどり



加治木くも合戦



いも焼酎

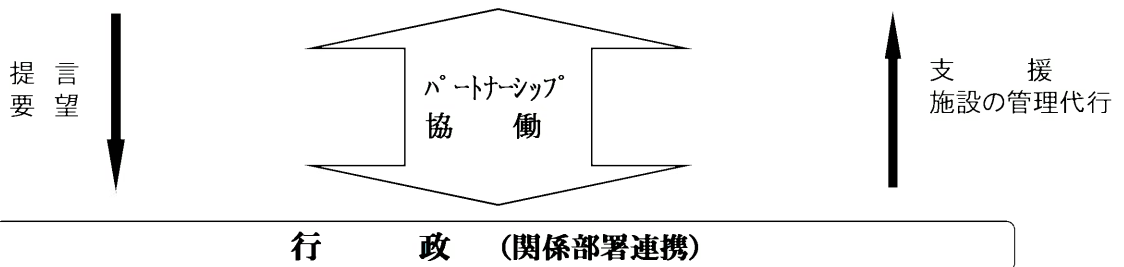
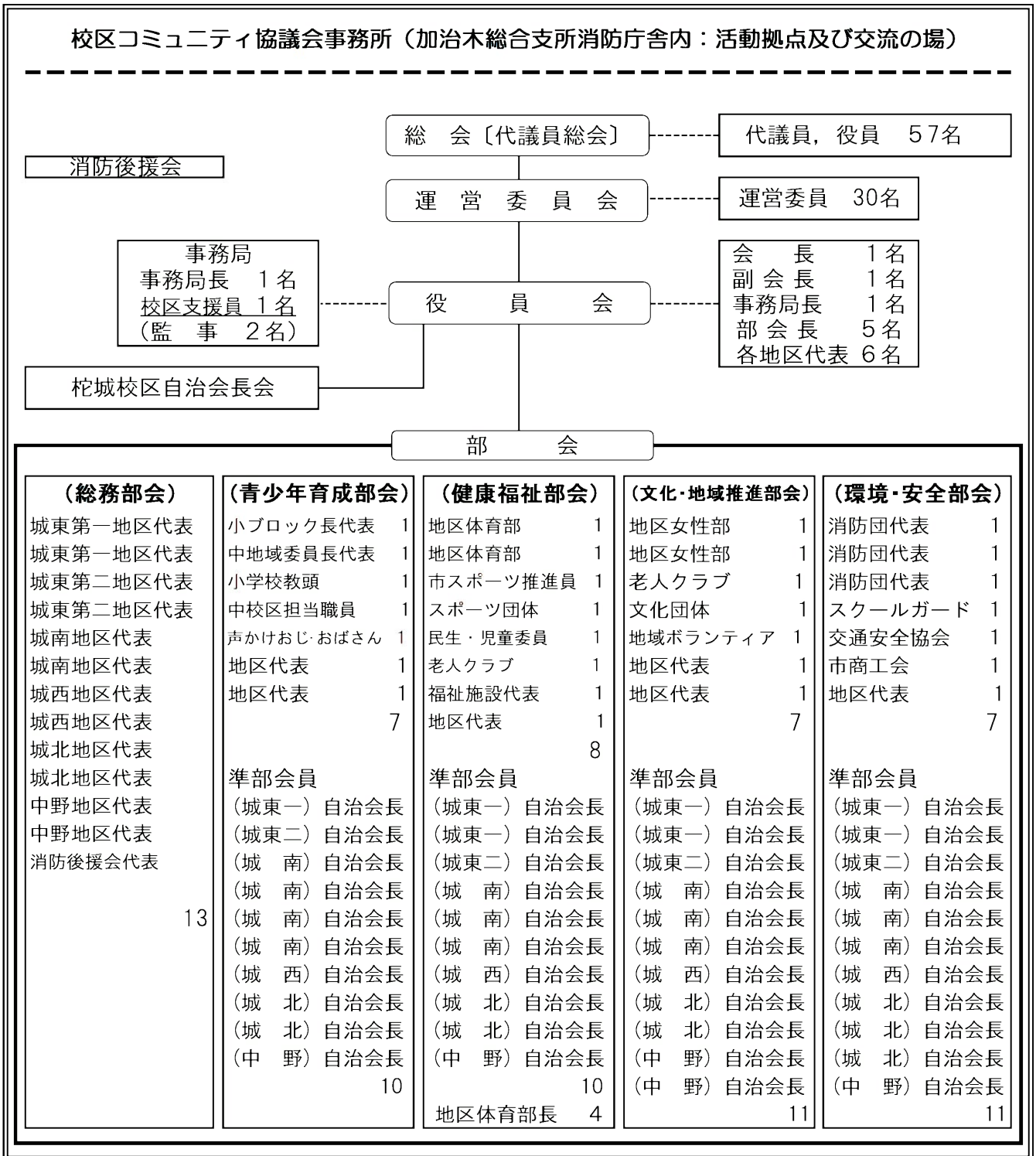


加治木まんじゅう



精茅（くわしほこ）神社境内と本殿

4. 平成29年度 柁城校区コミュニティ協議会組織図



II 柁城校区の現状と課題

1. 柁城校区の現状

[平成 28 年 5 月 1 日現在]

① 人口 男子 4,076 人 女子 4,632 人 合計 8,708 人

②世帯数 4,205 世帯

③高齢化率 30.6% [65 歳以上]

④校区内小・中・高等学校

○柁城小学校 男子 215 人 女子 224 人 合計 439 人

○加治木中学校 男子 326 人 女子 320 人 合計 646 人

○県立加治木高等学校 全校生徒数 951 人

○県立加治木工業高等学校 全校生徒数 780 人

⑤消防団 加治木方面隊加治木分団 団員 27 人

⑥校区内の主要施設

○始良市加治木福祉センター

○始良市商工会加治木支所

○椋鳩十文学記念館

○始良市役所加治木総合支所

○加治木労働基準監督署

○加治木図書館

○鹿児島地方家庭裁判所加治木支部

○加治木郷土館

○鹿児島県始良・伊佐地域振興局本庁舎

○加治木検察庁

○加治木看護専門学校

○加治木税務署

⑦校区の特徴

柁城校区は昔からクモ合戦や太鼓踊りなどの伝統行事が毎年盛大に行われ、名所旧跡の多い歴史と文化の香り漂う加治木の中核をなす地域となっている。

その中心部に柁城小学校があり加治木中学校に加えて県立の加治木高校・加治木工業高校も存在する文教の地でもある。校区民の教育への関心も高く、いずれも校区のみならず市内外から厚い信頼を寄せられている学校である。また加治木の商店街の中心部もこの校区内に位置している。ここ 10 年、住宅の建設も進み新たに移り住んできた若い世代の住民も多く校区に活気がある。



また加治木の商店街の中心部もこの校区内に位置している。ここ 10 年、住宅の建設も進み新たに移り住んできた若い世代の住民も多く校区に活気がある。

⑧校区の産業等

農業は稲作がほとんどで、他に野菜の栽培などを行っている。加治木の蒲田通り周辺に商店街が立地し、酒造会社や石灰を作る工場などもあり、大型店舗の進出は

あるものの昔から根強く校区の経済を支える力になっている。「かもだ思い通り商店街」では、協働して県下の三大市の一つ『初市』や『師走市』、『夏祭り』、『しあわせ百縁市』などの催しを通して活性化に努めている。高齢化が進む中、歩いて買い物に行ける商店街の存在は校区民にとって大変有り難いことであり、今後の更なる発展を皆が願っている。



(多くの人出で賑わう師走市)

2. 校区民へのアンケート調査について

このまちづくりプラン作成に当たっては、平成 27 年度に発足した校区コミュニティ協議会について校区の方々がその目的や活動内容等をどのように理解されているか、また今後の活動にどのような考えをもっているかを把握する必要があり、アンケート調査を実施しました。多くの校区民から校区コミュニティ協議会のまちづくりプラン作成の基礎資料となる貴重な意見・提言をいただきました。アンケート調査の集計結果の大部分は後方の添付資料を参照いただくことにし、本項では、アンケート調査(本誌 P23)〔4〕の記述式回答を、コミュニティ活動に具体的に反映させるため、皆様の意見・提言として五つの内容(P.10)に分類しました。



《アンケート調査》の概要

- ①調査の目的・・・校区コミュニティ協議会に関するアンケートを実施しその分析結果を「まちづくりプラン」作成に反映させるとともに今後の柁城校区コミュニティ協議会の活動の基礎資料として活用する。
- ②調査対象・・・柁城校区民(世帯) 全世帯の約1割に相当する434世帯。
- ③実施時期 平成28年11月1日～11月15日
- ④調査方法 各自治会1割強の世帯を無作為に抽出し自治会長を通して調査依頼。
- ⑤回収状況・・・362(83.4%)

全体的な傾向を正しく把握するには、統計学的に必要なサンプル数は、校区の自治会総世帯数の4205を基に計算すると352となります。これを上回る362の回答があり、アンケートの分析の結果は校区全体の状況を推定するに十分な精度を得ています。(アンケートの集計結果は後方添付の資料参照)

3 アンケート分析結果と柁城校区コミュニティ協議会の課題

アンケートの回答を全体的にみると次のようなことを今後の課題として把握することができました。後方に添付した各問に対する集計結果とともに今後のコミュニティ活動推進の重要な情報と受け止め、活用していきたいと思えます。

(1) 広報活動の推進

「今までのような広報活動を続けていけば良い」という意見も多数あったものの、『校区コミュニティ協議会についてよく理解している』と答えた人は全体の1割にすぎず、協議会発足の趣旨や内容の理解が十分に浸透していない。発足以来、「柁城校区コミュニティ協議会だより」を発行して全戸に配布してきているもののその情報が読まれていないこともその一因と思われる。今後は今まで以上に分かりやすく読まれる情報の提供を粘り強く継続していく必要がある。

(2) 自治会同士の情報交換と連携

地域の課題等の内容をみると自治会により温度差があることがわかる。各地区で少子高齢化が進む中であっては当然のことと思われる。今後はそれを補完するための工夫・・・例えば自治会の境界を越えた情報交換と連携が必要である。

(3) コミュニティ協議会の組織の改編・・・自治会長が参加する会議の設定

コミュニティ協議会が校区民に良く理解され、その機能が十分に発揮されるには各自治会との連携が必要である。そのため各自治会の代表が集まり情報交換する場を設ける必要がある。

(4) 柁城校区の良さを更に伸ばす活動

大半の人が、柁城校区を歴史と文化の香り漂う地域として捉え、生活の利便性や心豊かな隣近所とのふれあい・子どもの見守り活動の有り難さや安心安全に生活できる地域であることを挙げ、日常の生活に満足している。今後はこの校区のもつ良さを更に伸ばす活動を推進していくことが大切である。史跡めぐりや歴史に関する講話やフォーラムの開催などの”学び”の要望も根強くあることがわかった。

(5) 校区民のもつ不安への対応

高齢化が進む中、将来の生活に不安を感じている人や自治会未加入者が増え校区の将来を案じている人も多い。そのことを心に留めた活動の在り方を考える必要がある。

(6) 主催行事への参加者を増やす工夫

「コミュニティ協議会主催の行事に参加して親しみを感じるようになった」という感想があった。主催行事への参加者数をより一層増やす努力をすることがコミュニティ協議会への理解と協力・参画につながることを示唆している。

4 ”まちづくり”を進めるための意見・提言《設問〔4〕の回答を5項目に整理》

(1) 自治会活動の活性化や地域振興に関すること

・行事参加への積極的な呼びかけ
・コミュニティ協議会による自治会のサポート
・多くの人が参加したくなるような行事の企画
・全ての世代の参加を促す工夫
・公民館の開放…子どもと大人の触れ合い・学び合いの場
・役員の後継者の育成
・自治会相互の連帯
・研修…他のまちの活動情報
・未加入者対策
・加治木駅付近の開発
・強いリーダーを望む
・広報活動の推進(年4回は)
・お互い誰でも気楽に参加できる雰囲気作り
・コミュニティ協議会による各自自治会への出前(組織の成り立ち・意義・今後の活動等について)
・月1回のものづくりや料理教室等(できることから)
・有線放送設備の整備
・花づくりを通じた地域の魅力向上
・若い人の意見尊重の姿勢
・SNSを介した情報発信, 映像表現, FaceBookの作成

(2) 青少年育成や地域と学校の連携に関すること

・子ども会のないところは組織化
・あいさつ運動の推進
・まずは挨拶・声かけから
・子どもも参加する清掃活動(異年齢世代のふれあい)
・子どもから大人まで参加する朝のラジオ体操を毎月一回でも開催
・ものづくりや料理などの機会を設ける…子どもを主体に据えた活動の企画
・コミュニティ協議会との連携による夏休みの学童保育の充実
・小学校・中学校・高校との連携
・子どもの見守り活動の更なる推進…全ての自治会で(今は温度差がある)
・自治会活動(一斉清掃・緑化活動等)への子ども参加呼びかけ…大人と一緒に
・コミュニティと学校が一体となった運動会
・ごみ拾いボランティア活動
・昔盛んだった「夏祭り」の復活…子ども会も参加したみこしパレード

(3) 健康・福祉に関すること

・独居高齢者等に対する「サロン」活動の推進…触れ合い・茶のみ会・料理教室等
・校区のグラウンドゴルフ大会
・グラウンドゴルフペアマッチを毎年開催
・スポーツ施設の充実(スポーツジム建設)
・高齢者の生活支援(買い物・掃除・ゴミ出し等)の推進
・史跡めぐりを兼ねた歩こう会
・市の体育館や公民館を使ったクラブ活動
・月1回のお茶のみ会

(4) 歴史・文化の継承や伝統行事等に関すること

・引き継ぐべき伝統行事は他地区からの転住者にも伝承
・コミュニティ協議会と行事主催者との連携
・自治会で史跡めぐりや歩こう会の企画
・有識者による講演・講話・フォーラムの開催
・校区文化祭の更なる発展の工夫…参加者の増員や展示物等の工夫
・史跡めぐりを兼ねた歩こう会
・昔賑わった日木山神社花見の復活
・精矛神社島津義弘公没後400年祭への協賛

(5) 生活環境の改善や防火・防災など安心・安全に関すること

・子どもたちが安全に過ごせる環境づくり…危険箇所マップづくり
・夜間暗い場所や危険なところを調べ防犯灯設置
・防犯灯をLEDに替えて照明を明るく
・定期的に防災勉強会の開催
・護国神社石垣の補修と危険空き家対策
・金属製ごみ収納庫の設置の推進
・防犯カメラの増設
・用水路ふたの設置
・自主防災組織の設立
・通学路へのガードレール設置(椋鳩十記館～新道交差点)
・側溝が短時間の大雨で溢れ道路が冠水する地域の溝の改修
・地域によっては蚊が大量発生(溝掃除等への取組み)
・護国神社をいつもきれいに保つ美化活動…環境教育の視点から子どもの参加も

Ⅲ 柁城校区が目指す将来像

1. 校区の将来像

歴史と文化の香り漂う加治木の中核をなす柁城校区に住む住民が、子どもから高齢者まで強い絆で結ばれて心触れ合い安心・安全に生活できる住みよいまちづくりに取り組んでいくことを目指し、校区の将来像を以下に示します。

歴史と文化を語り継ぎ

心豊かに学び生活できる 住みよいまち 柁城

2. 分野別の基本方針

上記のような将来像を達成するために、以下に示す五つの部会毎に「目指す姿と基本方針」を掲げ実現に向けて行動します。

部 会 名	項 目	内 容
総務部会	目指す姿	共生・共助・ぬくもりのあるコミュニティ・柁城
	基本方針	○情報発信とコミュニティ協議会活動の理解 ○コミュニティ協議会の円滑・効率的運営 ○校区内自治会の横の連携，各部会の連携
青少年育成部会	目指す姿	地域ぐるみで取組む青少年健全育成のまち柁城
	基本方針	○育成会との連携(登下校時の見守り等) ○幼・小・中・高校との連携 ○地域イベントへの積極参加
健康福祉部会	目指す姿	老いも若きもみな元気・思いやりのまち柁城
	基本方針	○スポーツ活動の推進〔運動会，グラウンドゴルフ大会〕 ○異世代交流と地域の連帯〔みんなで遊ぼう会〕 ○高齢者の見守りと生活支援〔サロン活動等〕
文化・地域推進部会	目指す姿	歴史と文化を学び伝える心豊かなまち柁城
	基本方針	○校区の芸術・文化の向上〔文化祭〕 ○歴史文化の継承〔歴史・文化講演会〕 ○地域の伝統行事への協賛
環境・安全部会	目指す姿	安心・安全で住み心地よいまち柁城
	基本方針	○小学生の登下校時の見守り ○環境美化活動の推進と校区の生活環境改善 ○防火・防災・防犯の定期的な勉強会の開催

IV 主な取組みと部会の役割分担

(1) 総務部会の取組み

部 会 名	総 務 部 会					
目 指 す 姿	共生・共助・ぬくもりのあるコミュニティ・柁城					
〔現在取り組んでいること〕						
○コミュニティ協議会の企画・運営			○広報誌の発行			
○自治連・消防後援会との連携			○各部会との連携			
〔今後取り組むこと〕						
項 目	役 割 分 担			実 施 時 期		
	校区	協働	行政	短期〔3年内〕	中期〔5年内〕	長期〔10年内〕
○コミュニティ協議会の啓発活動		○		→		
○校区内自治会の横の連携		○		→	→	→
○校区の活性化を図る企画・運営と研修	○			→	→	→

(2) 青少年育成部会の取組み

部 会 名	青 少 年 育 成 部 会					
目 指 す 姿	地域ぐるみで取り組む青少年健全育成のまち柁城					
〔現在取り組んでいること〕						
○柁城まつり協賛（餅つき・ゲーム）			○声かけ運動			
○子ども会活動パネル展			○交通安全立哨			
○柁城カルタ大会(幼稚園児～小学生)						
〔今後取り組むこと〕						
項 目	役 割 分 担			実 施 時 期		
	校区	協働	行政	短期〔3年内〕	中期〔5年内〕	長期〔10年内〕
○地域と学校の連携 〔色々な職業で活躍している人の人生体験談〕		○		→	→	→
○伝統行事等への参加と協賛		○		→	→	→
○清掃活動への積極参加・推進	○			→		

(5)環境・安全部会の取組み

部 会 名	環 境 ・ 安 全 部 会					
目 指 す 姿	安 心 ・ 安 全 で 住 み 心 地 よ い ま ち 柁 城					
〔現在取り組んでいること〕						
○環境美化活動〔護国神社清掃〕						
○交通安全立哨			○防災講話と訓練			
〔今後取り組むこと〕						
項 目	役 割 分 担			実 施 時 期		
	校 区	協 働	行 政	短 期〔3年 内〕	中 期〔5年 内〕	長 期〔10年 内〕
○環境講話とリサイクル活動 〔地球温暖化対策・ごみ処理問題・3R等〕		○		→	→	
○地域の住環境改善・住民への啓発		○		→	→	
○小学生の登下校の見守り 〔自治会・子ども会との連携〕	○			→	→	→



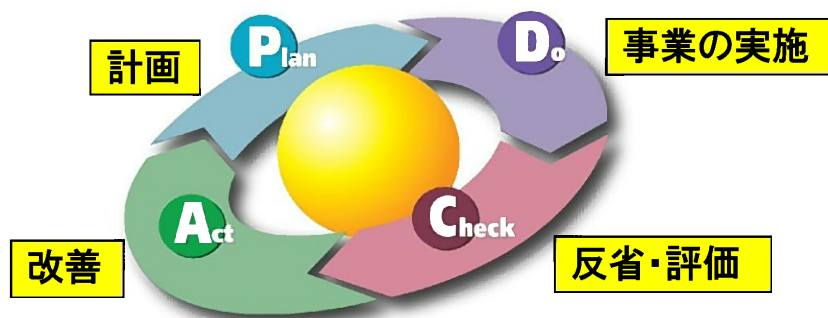
V 計画の推進に向けて

この「柁城校区まちづくりプラン」は校区の多くの人の声や意見をもとに作成したものです。今後、3年～10年の間、このプランの具現化を着実に推進していかねばなりません。

その趣旨・内容を校区の皆様にご理解いただくために、当コミュニティ協議会では次のようなことに取り組んでいきます。

- ① 「コミュニティ協議会」の趣旨を真に理解してもらうための資料配布。
- ② 「柁城校区まちづくりプラン」の冊子を全校区民に配布する。
- ③ 柁城校区の特色を示す資料収集に努める。

また、プランの推進に当たっては、短期・中期・長期とほぼ3年～5年ごとに目標を定めました。この各部会の実行プランは、年度ごとに実行した内容を検証し、その結果を次年度の計画に生かしていく・すなわちプラン実行の改善を続けてよりよいまちづくりにつなげていくというサイクルを築いていきます。



勿論そこには今後様々な活動を積み重ねていく中で校区の皆様の意見や感想を聞きながら、更に充実したものにしていくという視点がなければいけません。

まちづくりの担い手は校区民であります。皆様のコミュニティ活動へのご理解とご協力の下、行政とも緊密に連携しつつ、『歴史と文化を語り継ぎ 心豊かに学び生活できる 住みよいまち 柁城』という将来像に向けて、まちづくりを共に推進していこうではありませんか。

VI 資料編

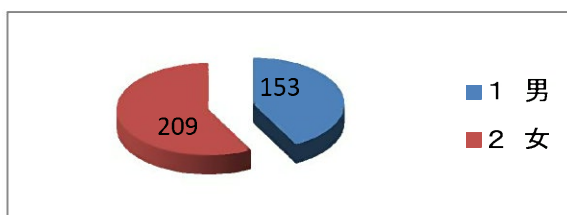
1. アンケート調査集計結果	16
2. プラン作成の経過	25
3. 柁城校区まちづくりプラン作成委員会委員	26

アンケート全体集計 1

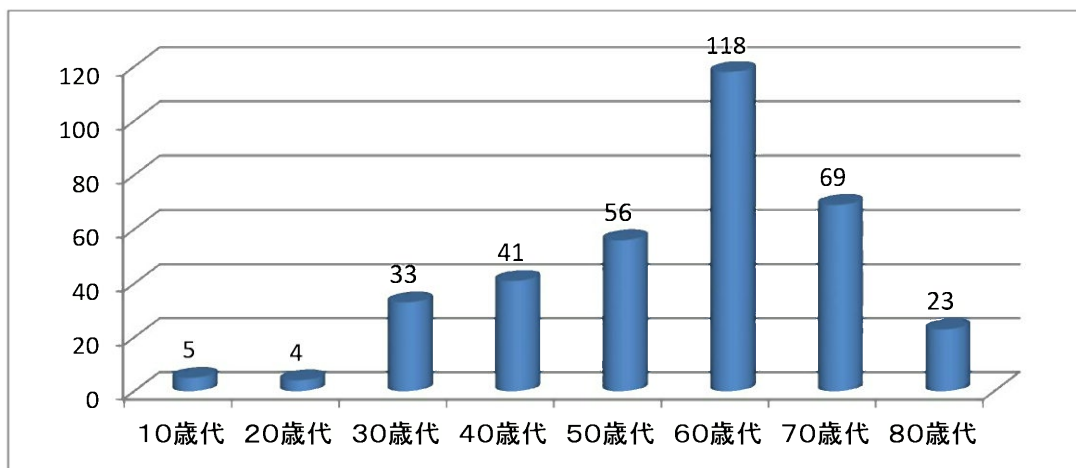
柁城校区コミュニティ協議会
まちづくりプラン作成委員会

〔1〕 あなたご自身のことについて……該当する番号に一つ〇印をつけてください。

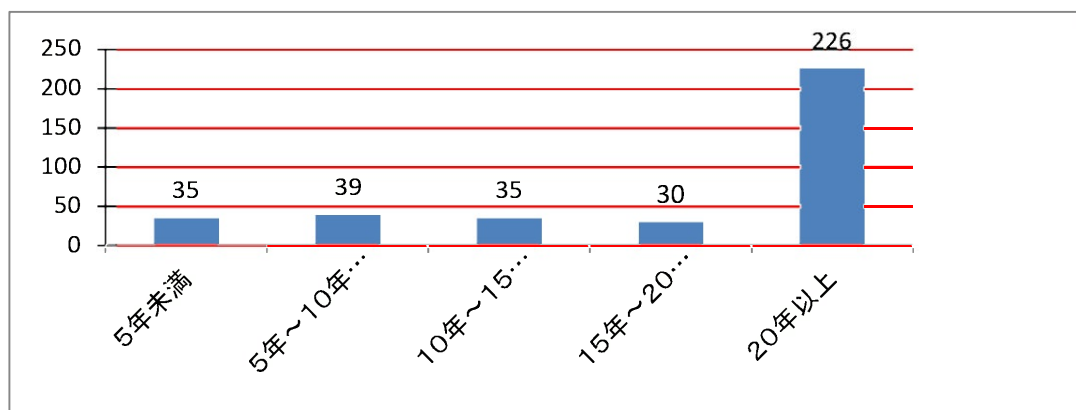
(1) 性別 1 男 2 女
 153 209



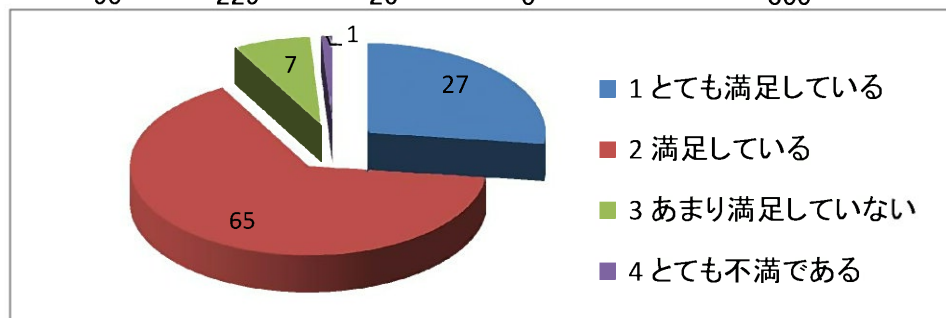
(2) 年齢 10歳代 20歳代 30歳代 40歳代 50歳代 60歳代 70歳代 80歳代
 5 4 33 41 56 118 69 23



(3) 柁城校区に住んで何年になりますか。
5年未満 5年～10年未 10年～15年 15年～20年 20年以上
35 39 35 30 226



(4) あなたは柁城校区での毎日の生活をどのように感じていますか。(満足度とその理由)
1 とても満足し 2 満足している 3 あまり満足していない 4 とても不満である
95 229 26 5



グラフ内の数値は%

1と2 , 3と4を選んだ理由(記述)は次頁

[1]-(4) 満足度合いとその理由

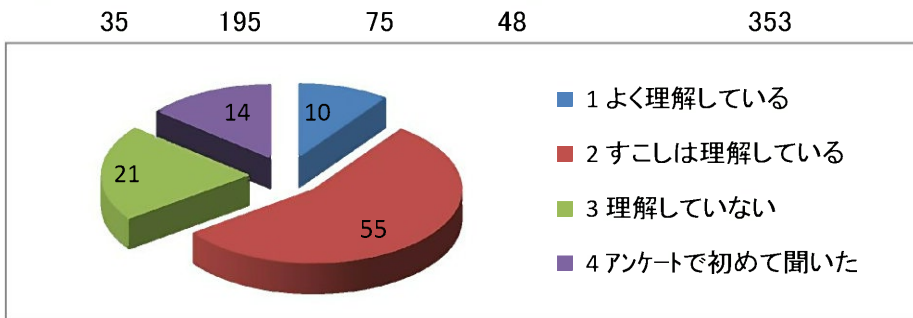
① 1 とても満足している, 2 満足している

- 生まれ育ったところで住みなれている
- 交通の便がよい(駅・バス便・インター近く・空港)
- 郵便局・銀行・商店・スーパーなど生活に必要なモノが揃っていて大変生活しやすい。
- 医療機関も近くにあり安心
- 近隣の方々との人間関係がよい。みな心豊かで優しく人情も温かい。
- 教育環境に恵まれている(保育園・幼稚園～高校まであり活気がある)
- 全体的に静かな環境
- 柁城小学校の教育やPTA活動がとてもすばらしく子育てに最高の地域
- 地域の方々が親切で子どもの見守り活動もすばらしい。
- 歴史・文化を感じさせる地域
- 自治会がしっかりしていて住みやすい

② 3 あまり満足していない, 4 とても不満である

- 地域によっては道路の幅が狭く歩道が無いので危険
- 地域によっては街灯が少なく夜間歩行が危ない
- 国道沿いは道路が悪く振動がひどい
- 平地で自然災害(津波)が心配
- 防災対策に不満を感じる。
- 自治会未加入者との触れ合いがない。
- 警察署・法務局・九電・NTTなどが移転し寂しい。
- 加治木の商店街が寂しくなりつつある。
- 近所付き合いが昔ほどない。
- 隣人の喫煙に悩む・受動喫煙被害で困っている。

(5) 校区コミュニティ協議会とは何か? 理解されていますか。



(6) 『校区コミュニティ協議会』のことについて校区の人の理解が深まるようにするにはどうしたらよいと思いますか。(記述) (『校区コミュニティ協議会』の理解を深める方策)

○広報活動のより一層の推進・・・(全自治会からの意見)

- ・回覧板の活用・どんなことをしているかの報告・活動内容のチラシ配布・定期的な活動報告
- ・写真にコメントを添えた分かりやすい報告・各自治会の広報紙の活用・市報に載せる
- ・協議会の内容を冊子にして配布・イラストやアニメを活用した分かりやすい資料
- ・年4回程度のカラーのコミュニティ新聞発行・各自治会での説明・行事の参加者へのアピール
- ・校区公民館時代との違いの説明・未加入者へのPR・HPや新聞投稿
- ・活動結果報告に啓発的内容も盛り込んだコミュニティだよりの発行・発足時の資料を再度回覧
- ・自治会総会等ことある度に説明

○開催行事の工夫

- ・高齢者が子どもに教える機会を増やす。 ・校区全体で行う行事を増やす。
- ・子どもも若い人も参加したくなるような企画 ・年2回の史跡めぐり開催
- ・防火・防犯・防災講話の実施 ・夏祭りなど皆が参加したくなる行事
- ・高齢者が多いので高齢者でもできることから(高齢者対象ウォークラリー)
- ・異年齢世代のふれあい活動 ・介護講座や認知症サポート研修
- ・年齢制限のない誰でも参加できる行事を月1回実施 ・史跡めぐりウォーキング
- ・活動計画の研究推進(先進地に学ぶ)

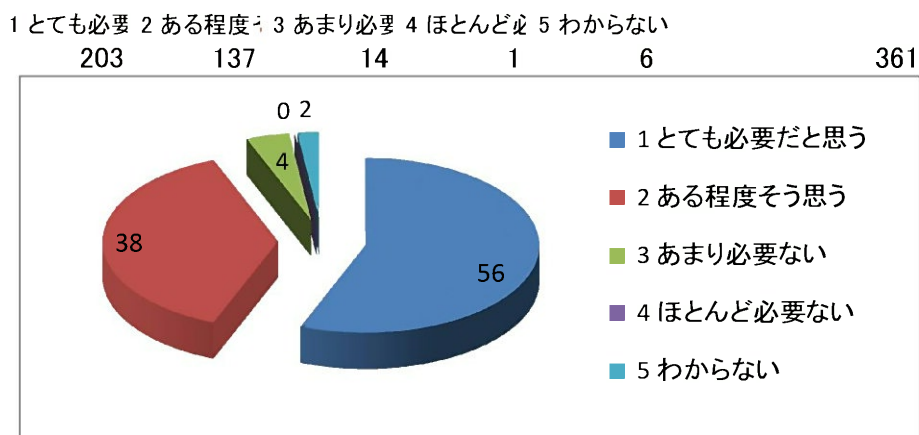
○コミュニティ協議会運営上の工夫

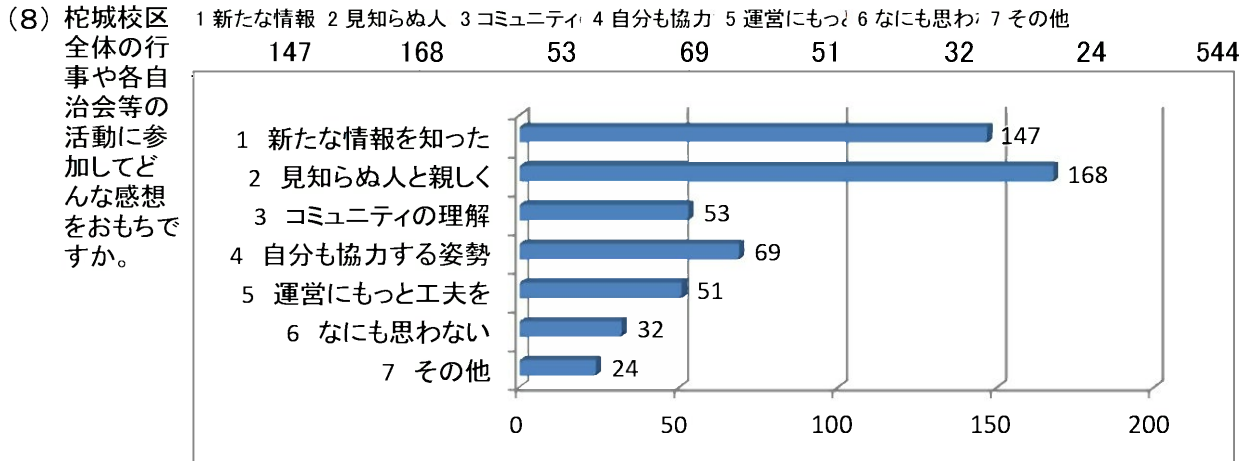
- ・コミュニティ協議会のカタカナ名称がわかりにくい(ほとんどの自治会から)。
(例: 当分の間「コミュニティ協議会(共同体)」としたらどうか)
- ・今のように広報を続けて行けば大丈夫・次第に浸透していく。
- ・校区公民館からコミュニティ協議会への移行経過の再度の説明。
- ・各種行事への参加のより一層の呼びかけ・常連のみならず幅広く参加者を集める。
- ・コミュニティ協議会と自治会の交流と出前の説明 ・学校行事に協議会として参加していく。
- ・高齢者の見守り・・・一人暮らしのマップを作成し自治会別に訪問。
- ・全自治会に役員・連絡員を置く。 ・まずは自治会活動の活性化から。
- ・小学校・中学校の子どもたちを通して広めていく。 ・お互い役員任せにしない。
- ・10年、20年後の地域の姿を想定して課題を話し合うワークショップを設け、市からはその司会・進行役(ファシリテーター)を派遣してもらおう。
- ・今まで各種のイベントを開催してきているので理解は進みつつある。

○関連した意見

- ・柁城小バザーではコミュニティ協議会に大変親しみを感じた(餅つき・あそぼう会)。
- ・今までの公民館活動とどう違うのか ・コミュニティの意味がわからない。
- ・まず子どもたちに理解してもらい、子どもから大人へ伝える。
- ・試行錯誤しながら前進 ・法人化(NPO)して地域振興につながる組織づくり。
- ・何のため発足したのかわからない。 ・理解を深めるとはどのようなことか?それから始めるべき。
- ・各自治会は十分な活動をしてきているのでコミュニティ協議会は必要ないのでは。
- ・市役所の強制みたいな感じがする。 ・自治会は行政の受け皿という意識が強い。

(7) 今まで校区の一斉清掃や自治会の活動などが行われ、住みやすいまちづくりをしようという活動が行われてきましたが、あなたはこのような活動についてどう思いますか。

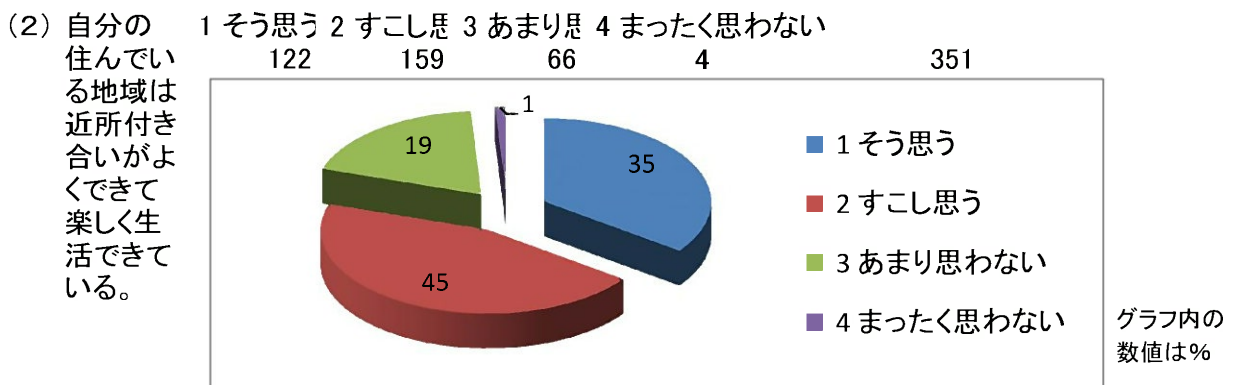
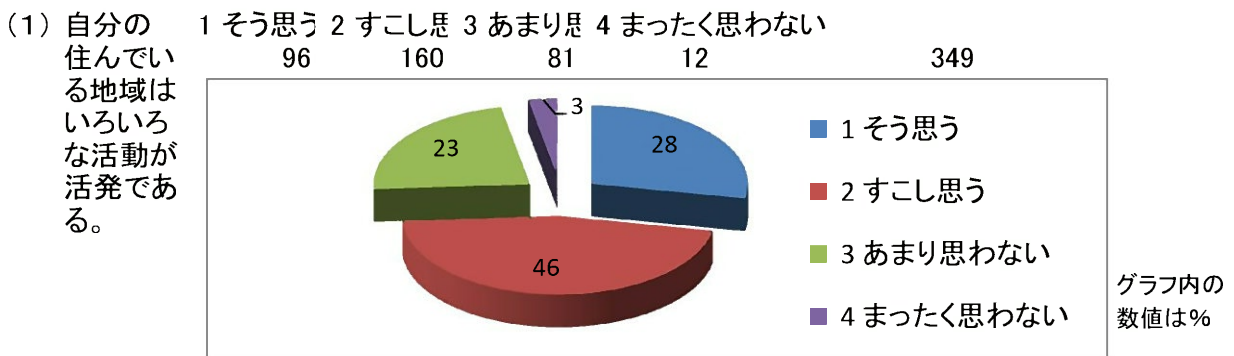




(8) の 7 その他(記述) <『校区全体の行事や自治会の活動に参加して』の感想>

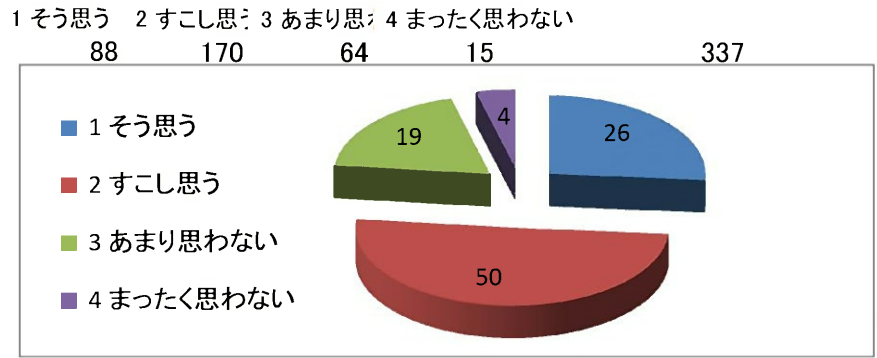
- 親の介護をするようになって自治会活動に参加できなくなり申し訳なく思っている。
- 活動の必要性は理解しているが忙しくて参加できない。
- 自治会長さんは熱心に活動されているのに自分の都合優先で申し訳なく思う。
- 今まででなんとか参加してきたが年齢とともに体力が衰えてできにくくなりそう。
- 役員に負担のかかる行事が多いような気がする。住民が何を必要としているのか調査すべき。
- 広報に力を入れもっと参加者を増やす努力を。
- 史跡めぐりウォーキングは非常に参考になった。
- 子どもが小さい頃参加したグラウンドゴルフ大会は良い思い出。
- 役員の方々の積極的な取り組みをみて参加意欲が湧いてきた。多くの人に参加を促したい。
- 昔から子どもも大人も地域の方々も一体となった取り組みがなされ協力し合って楽しく過ごせていた。協力は当然のこととしてこれかも続けていきたい。
- 自治会自体に諸行事が一切ないところもある。
- 行事や催事がマンネリ化している。 ○行事に参加し健康寿命保持に役だった。

[2] <自分の住んでいる地域>のことについてどう感じていますか、それぞれに一つ〇印をつけてください。

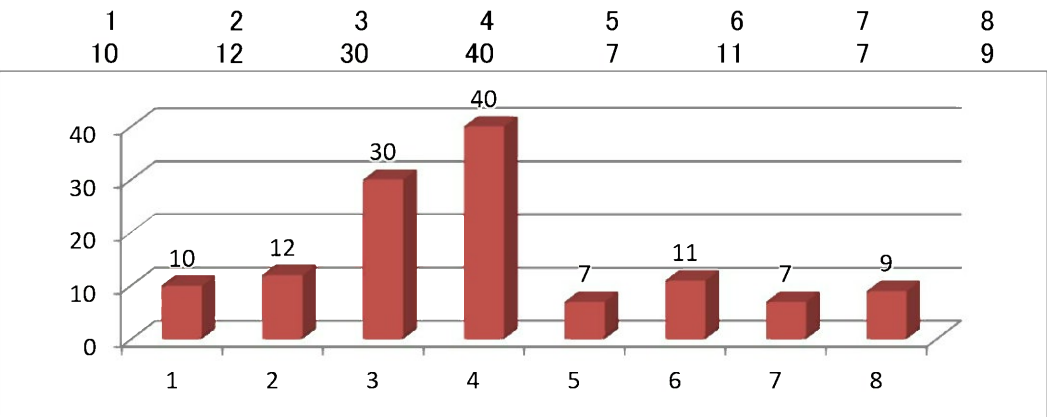


[2] <自分の住んでいる地域>のことにどう感じていますか、それぞれに一つ〇印をつけてください。

(3) 自分は積極的に地域の活動に参加していると思いますか。



(4) 前問の3,4に〇印をされた人に伺います。積極的に地域の活動に参加しない理由は何ですか。《この項の〇印は複数可》

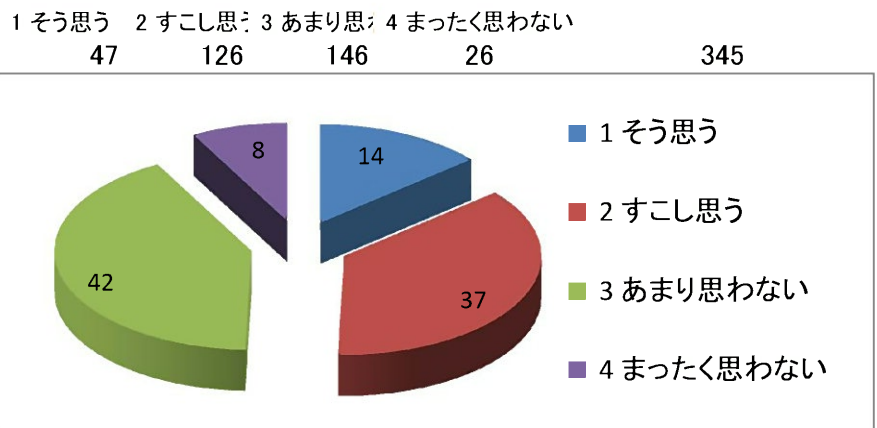


- 1 知り合いがいないため参加しても面白くなさそう
- 2 高齢者が多く違和感がある
- 3 地域の行事・活動等に興味がわからない
- 4 今までの行事の日程が自分の仕事や用事等と重なって参加できなかった
- 5 地域の人と交流したいと思ったことがない
- 6 今までどのような行事が行われているか知らない
- 7 参加したいと思うが、今まで参加したことがない
- 8 その他

(4) の 8 その他(記述) <積極的に地域の活動に参加しない理由>

- 両親の面倒見が目に見えて増えてきたため・・・申し訳ない
- 自分の体調に合わせて入れる文系・体育系サークルがあれば。
- 自分の地区でも「サロン」活動があればよいのに・・・ボランティア中心の仲間作り。
- 参加したいが仕事・親の介護でできない状況
- 参加したいが第一歩が難しい。 ○日常のあいさつ・声かけ程度でよい。
- 身近な問題に対して行政側とどのように連携し改善していくのか。
- 少子化・高齢化という社会的傾向に対して行政とどのように連携していくのか。
- 花見会があるがあまり好まない。
- 地域同士でも交流が少ない。何らかの形で交流ができれば和が広がる。

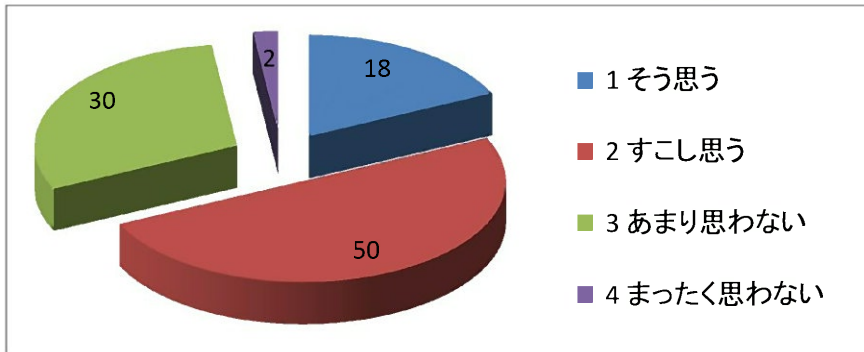
(5) 自分の地域は、一人暮らしの高齢者など困っている人を助ける仕組みができていますか。



[2] 〈自分の住んでいる地域〉のことにどう感じていますか、それぞれに一つ〇印をつけてください。

(6) 自分の地域は連帯意識(皆で助け合い支え合う気持ち)があると思いますか。

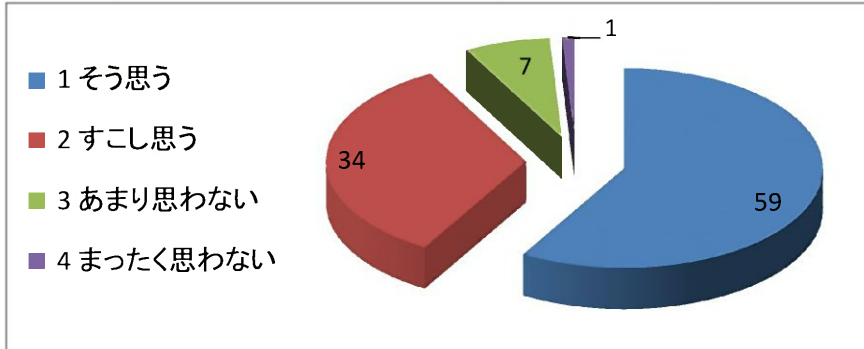
1 そう思う 2 すこし思う 3 あまり思わない 4 まったく思わない
64 176 106 8 354



グラフ内の
数値は%

(7) あなたの地域はごみの収集がみんな協力して行われていますか。

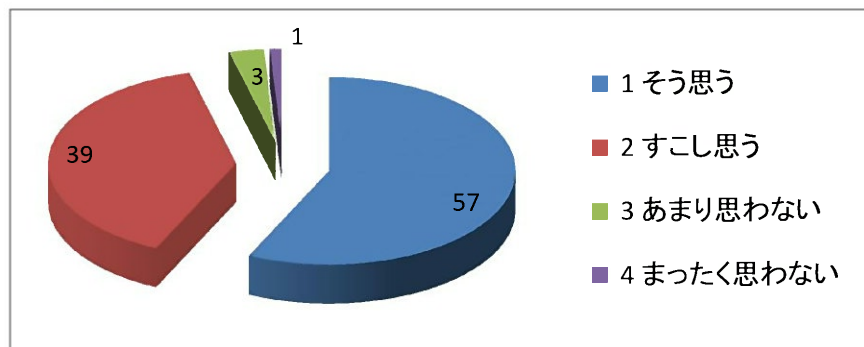
1 そう思う 2 すこし思う 3 あまり思わない 4 まったく思わない
205 119 23 2 349



グラフ内の
数値は%

(8) 資源ごみの分別はきちんとされていると思いますか。

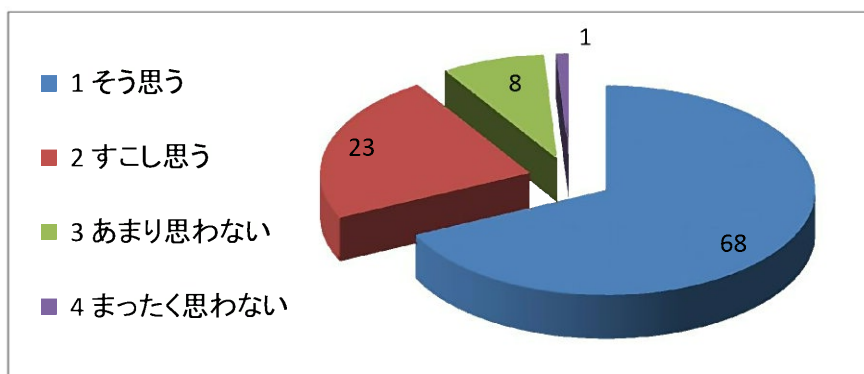
1 そう思う 2 すこし思う 3 あまり思わない 4 まったく思わない
203 140 12 4 359



グラフ内の
数値は%

(9) 生ごみ収集箇所(ステーション)の衛生環境は整っていると思いますか。

1 そう思う 2 すこし思う 3 あまり思わない 4 まったく思わない
235 79 28 2 344



グラフ内の
数値は%

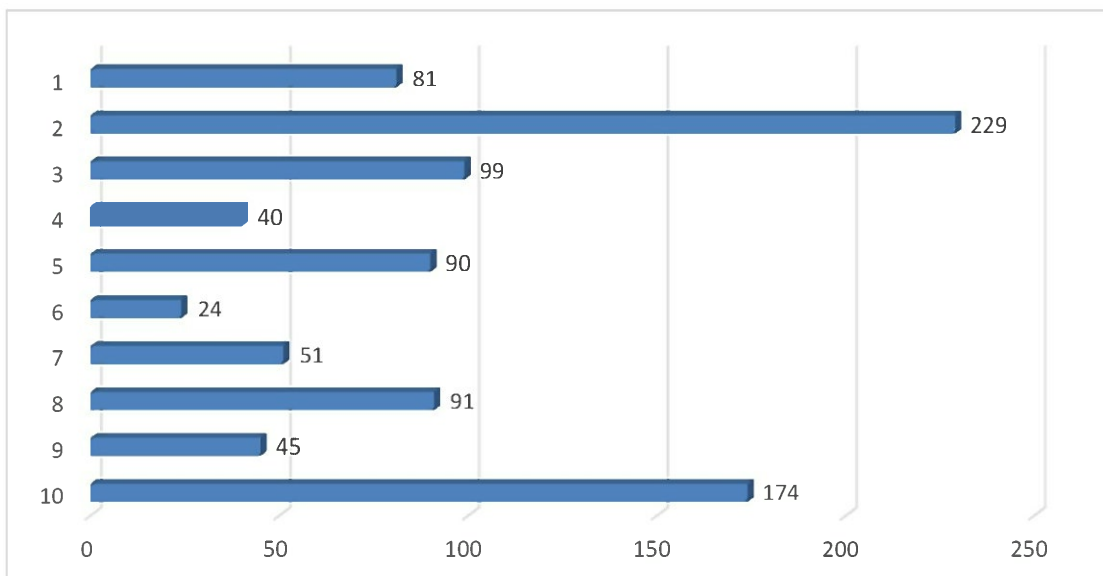
改善策(記述)は 次頁

〔2〕－ (9) ごみ収集箇所(ステーション)の衛生環境・・(改善策)

- 他地区の人の通りかぎりのゴミ捨て・・今のところどうしていいかわからない。
- 自治会未加入者・アパート入居者等への徹底指導。
- 金属製ゴミステーションの設置・・・衛生環境が改善しカラスがいなくなった。
- 定期的に巡回し改善していく。
- 関連した意見
 - ・網でゴミを覆っているけれどもカラス・猫・犬等が喰い散らしていつも同じ人が片付けている。
 - ・ネットをきちんと整備するか金属製のごみ収納庫を用意する(行政か？ 自治会か?)。
 - ・予算的なこともあるが金網で囲むような施設があればよい。
 - ・赤袋に何でも突っこんで出す人がいる・・ルールの徹底を！
 - ・自治会総会で意見を出しても無視されることが多い。改善策がない。
 - ・自治会未加入者が捨てている。
 - ・ごみ収納庫を自治会の要望を聞いて協議会で順次配置してほしい。
 - ・ごみ収集場所が道幅の狭いところにある。遠くは困るがなんとかならないものか。

〔3〕 柁城校区をより住みよく心豊かに生活していけるまちにするため、どのような方向をめざすべきだと思いますか。(強く思う項目を3つ選んでください)

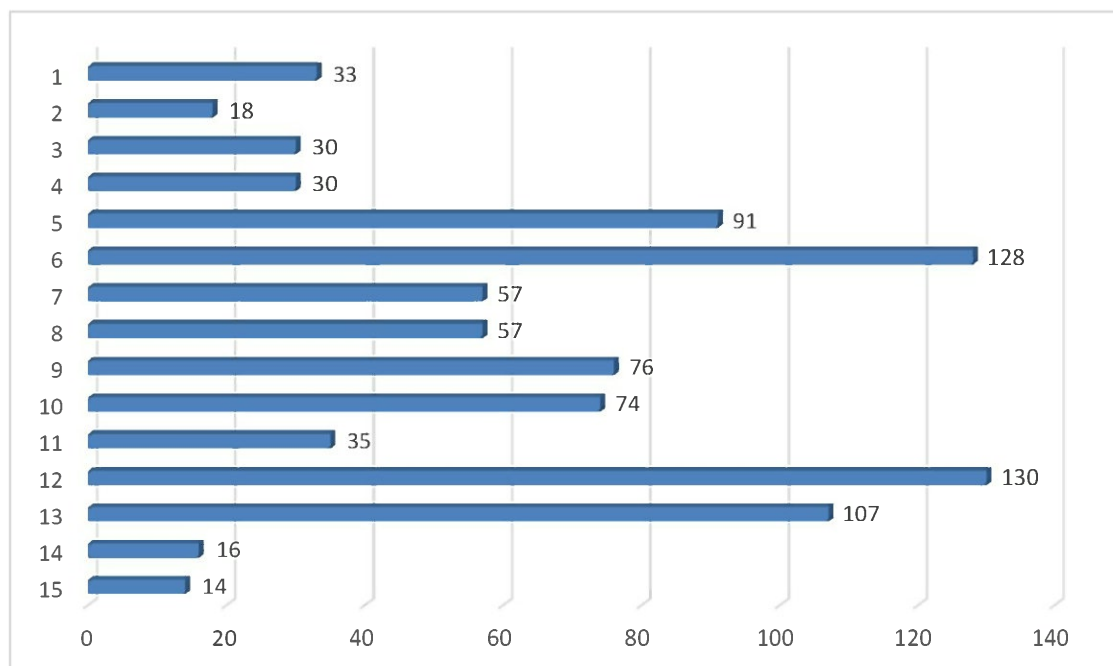
1 柁城校区の歴史や史跡などを学び、大切に後世に語り継いでいくまちづくり	81
2 一人暮らしの高齢者も安心して生活できるよう皆で支え合う雰囲気のあるまちづくり	229
3 地域で青少年(子どもたち)を育てる活動の盛んなまちづくり	99
4 スポーツ大会など健康づくりの盛んな活動が行われるまちづくり	40
5 ゴミステーション等が整備され衛生環境の整ったまちづくり	90
6 料理教室や歌・踊り・絵画・書道など、生涯学習の盛んなまちづくり	24
7 防火・防災・防犯などの活動が盛んで安心して暮らせるまちづくり	51
8 異年齢世代のふれあい活動が盛んに行われ校区全体が融和するまちづくり	91
9 学校と地域が強い絆で結ばれ双方向に協力しあうまちづくり	45
10 通学や通勤・買い物などがいつも安心してできる危険個所のないまちづくり	174



〔4〕”まちづくり”を進めるための具体的取り組み・・(意見・提言を5項目に整理) →この項は10頁に掲載

〔5〕 柁城校区での毎日の生活の中で、困っていることや不安に思っていることはありませんか。
 下記項目の中に該当するものがあれば○印をつけてください。《複数可》

1 校区や自治会等の行事への参加よびかけ	33
2 一人暮らしの不安	18
3 隣近所とのつきあい・人間関係	30
4 子育てと子どもの教育と将来	30
5 自然災害(床下浸水等の水害)の心配	91
6 万一の地震発生時の避難	128
7 年金等の収入を含めた生活維持	57
8 安心・安全な生活への危機感(不審者の出没等)	57
9 自分を含めた家族の健康	76
10 自分の老後の生活	74
11 子どもの登下校時の不安	35
12 高齢化が進み自治会活動衰退の不安	130
13 自治会未加入者漸増による地域の連帯感への影響	107
14 伝統芸能・文化の後継者難によるまちの衰退	16
15 その他(日頃感じていることを自由に記入ください)	14



〔5〕-15 その他(日頃感じていること) <毎日の生活の中で、困っている・不安に思っていること>

- 高齢化が進み短期間に役員の順番が廻ってくる。
- 夫婦次第に高齢になるにつれて生活不安が。
- 空き家の処理を持ち主に促してほしい。
- 加治木駅周辺が暗い。
- 夏の初めから晩秋にかけて蚊が大量発生する。市に要請し住みよいまちにしてほしい。
- 40代・50代のリーダーを育成してほしい。
- 自治会役員のなり手が無い。会長の負担が大きくなっている。
- 活動の単位は自治会で！・・・自治会が弱体化すれば不安が増大する。
- 高齢化のため一斉清掃ができにくくなりつつある。

〔5〕-15 その他(日頃感じていること) <毎日の生活の中で、困っている・不安に思っていること>

- 輪番制で役員が回ってくると自治会員でいることを悩む。
- 自治会の退会者が増えつつある。
- 桜島爆発など万一の災害発生時の対応の仕方がわからない。
- 防災避難訓練の必要がある。
- 自治会長が行っている小学生の見守りを保護者とボランティアにしてもらえないか。
- 地域を積極的にまとめてくれるリーダーがいない。
- 最近不審者が出て困っている。
- 地域の人のもつ特技を生かす工夫をする。
- 障害者のいる家庭の避難場所の確認や手助けの備え。
- 空き家対策・・・庭木等が放置されたままの状態。
- 万一病気になった時息子が県外にいるので不安。
- 通学路の危険箇所への迅速な対応・・・護国神社の石垣、倒壊恐れのある危険空き家。
- 少しの雨で冠水する道路(浜崎病院前)の改修。
- 高齢化が進む中、お互いが立場を理解し協力し合うことがますます大切になってくる。
- 転入者に対するごみの分別の徹底。
- 自治会未加入者が増えるとまとまりが無くなる。
- 自治会未加入者対策・・・行政も対策を考えられないか。
- このアンケート結果を公表してほしい。
- 河川の改修・・・中州の除去(日木山里ノ下)・・・家屋浸水防止のため。
- 子どもの見守りに自治会により温度差がある。できるだけ協力いただきたい。



第1回まちづくりプラン作成委員会



第2回まちづくりプラン作成委員会



第3回まちづくりプラン作成委員会

2. プラン作成の経過

期 日	項 目	内 容	会 場
平成28年6月30日	コミュニティ協議会総務部会	まちづくりプラン作成委員選出	協議会事務所
7月27日	設立検討会並びに第1回作成委員会	柁城校区まちづくりプラン作成委員会設立, 役員選出・作成手順・予算等検討	消防会館 2階会議室
9月5日	まちづくりプラン試案検討会	プラン作成の意義を確認, 試案検討	協議会事務所
9月27日	アンケート調査検討会	アンケート調査の意義並びに調査項目の検討	協議会事務所
10月14日	第2回まちづくりプラン作成委員会	プラン(試案)について協議, アンケート実施を決定	消防会館 2階会議室
10月18日	アンケート実施方法等検討会	アンケート調査の対象, 配付・回収方法並びに集計手順等の検討	協議会事務所
10月20日	第3回コミュニティ協議会運営委員会	プラン(試案)の概要を説明, アンケート実施・協力について要請	消防会館 2階会議室
11月1日	アンケート調査各自治会へ調査依頼	11/1～11/10にアンケート実施, 11/15各自治会での集約完了	各自治会
11月20日	アンケート集計	11/20～12/5にアンケート集計	協議会事務所
12月9日	アンケート集約・分析等検討会	アンケート集計結果を分析, 部会検討資料作成	協議会事務所
12月12日	各部会	12/12～12/22アンケートを受けて各部会の基本方針・今後の取組を検討	協議会事務所
平成29年1月12日	第3回まちづくりプラン作成委員会	アンケート集約結果の分析と柁城校区まちづくりプラン(案)協議	消防会館 2階会議室
1月31日	プラン検討会	プラン最終確認	協議会事務所
2月10日	事務局	柁城校区まちづくりプラン印刷原稿完成, 印刷発注	協議会事務所
4月中旬	柁城校区コミュニティ協議会平成29年度総会	柁城校区まちづくりプラン作成経過	消防会館 2階会議室
5月1日	各自治会	柁城校区まちづくりプラン各戸配付	柁城校区

3. 柁城校区まちづくりプラン作成委員会委員

番号	所 属	氏 名	役 割	備 考
1	会 長	徳重 武秀	顧 問	
2	副 会 長	櫛山 紀男	委員長	
3	事務局長	國山 光男	副委員長	
4	総務部会長	森 正二郎	委 員	
5	青少年育成部会長	下津佐照和	委 員	
6	健康福祉部会長	櫛山 紀男	委 員	兼副会長
7	文化・地域推進部会長	梅田 博志	委 員	
8	環境・安全部会長	吉村 正和	委 員	
9	城東第一連絡協議会長	今村 忠	委 員	
10	城東第二連絡協議会長	神田 哲夫	委 員	
11	城南地区連絡協議会長	日高 為之	委 員	
12	城西地区連絡協議会長	森 正二郎	委 員	兼総務部会長
13	城北地区連絡協議会長	竹中 隆昭	委 員	
14	中野地区連絡協議会長	長谷 博	委 員	
15	民生・児童委員代表	池ノ上ミチ子	委 員	
16	老人会代表	大脇 武光	委 員	
17	柁城小学校長	吉嶺 梓	委 員	
18	かもだ通り商店街共同組合理事	水田 繁	委 員	
19	柁城校区コミュニティ協議会支援員	長谷川末寛	委 員	

柁城校区担当職員

20	用 地 課	藏園 正樹		
21	市 民 課	東 拓洋		

※ 必要に応じて、追加の特別委員を委嘱し、作成委員会に参加していただく。

平成29年3月

柁城校区コミュニティ協議会

〒899-5294

始良市加治木町本町253

Tel 0995-73-5627

Fax 0995-73-5872

Mail dajyo-aikomi@po5.synapse.ne.jp